

体験型複合施設「ギャラクシティ」 団体利用のご案内

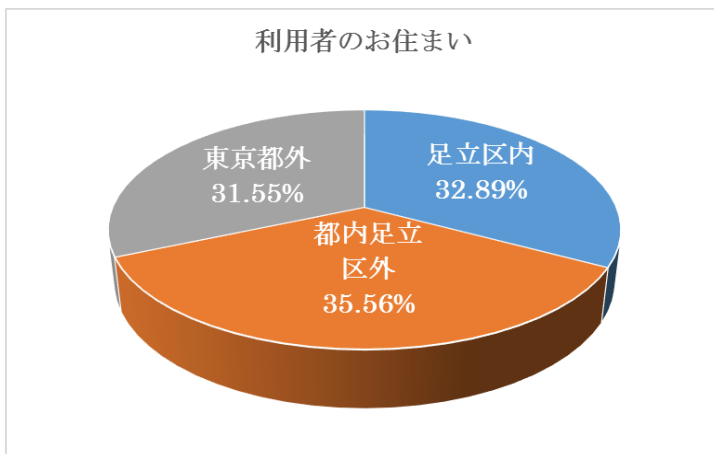
都市化や核家族化の進行、家庭や地域の教育力の低下、子ども自身が遊びや実体験を通して学んでいく場所や機会の減少など、子どもを取り巻く状況は大きく変化しています。このような状況の中で、東京都足立区は「たくましく生き抜く力を育む」を基本理念に教育・子育て環境の一層の充実化を図ることを目的に総工費 21 億円をかけ、大学や区民、区内の小学生の協力を得て、2013 年 4 月にギャラクシティをリニューアルオープンしました。

ギャラクシティは遊びながら学べるエデュテインメント(教育+娯楽)、希少性のある体験、子どもを中心に地域全体に広げる「多世代の参画」をキーワードに、遊びや体験を通して、子どもたちが夢やチャレンジ精神を育み、学ぶ力や社会に対応する能力を身につけることができる都内随一の施設を目指しています。

ギャラクシティは昨年度、年間 162 万 7 千人(2014 年 3 月実績)を超える区内外の多くの皆様に利用される人気の施設になりました。無料で楽しめるクライミング、日本最大級のネット遊具や 23 区で最大のドームを有するまるちたいけんドーム(プラネタリウム)等の施設だけでなく、子どもの知的好奇心をくすぐるワークショップを毎日開催しています。

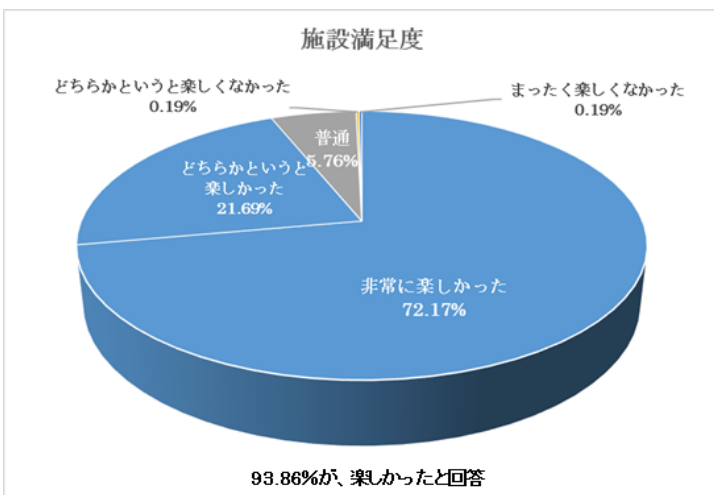
ギャラクシティは、まるちたいけんドームでの学習指導要領に準拠したプラネタリウム番組、体験施設のご利用、サイエンスプログラムの校外学習等での団体利用を平成 27 年 3 月 15 日より受付開始いたします。

1. ギャラクシティの体験施設



利用者の3分の2以上は、足立区外から

ギャラクシティは足立区の施設ですが、3分の2以上は首都圏を中心に区外からご来館いただいています。ギャラクシティは、子どもたちが「夢に会い、夢に挑戦する」、子どもたちの成長を支える夢とチャレンジのフィールドです。子どもたちが自分自身の体験やたくさんの仲間や大人との出会いを通して、好きなこと、なりたい自分を見つけ、その夢に向かって挑戦できる場所、それがギャラクシティです。



施設とワークショップで楽しく遊び、遊びの中から多くを体験

ギャラクシティは、理屈なく楽しい。しかし、その裏には子どもたちの成長を支え、知的好奇心を刺激し興味を引き出す計算された「理屈」があります。大学連携から生まれたキットやプログラムを交え、子どもたちは楽しく遊びながら、その遊びから学ぶ力や社会に対応する能力を身につけていきます。ギャラクシティには多彩な遊び場(アトラクション)が集結しているとともに、子どもたちの知的好奇心を刺激し、夢を育む様々な体験ができるワークショップがいつも開かれています。

*平成 26 年度上半期アンケート調査より

■スペースあすれちっく



直径 17m、高さ 10m の国内最大級のネット遊具。3 層式の遊具の中をポンポンと飛跳ねたり転がったり、思い切り身体を動かしながら、バランス感覚や運動能力を養います。子どもたちは珍しいネット遊具で思い思いに体を動かして楽しんでいます。

■がんばるウォール・クライミングぱーく



「がんばるウォール」は大人も楽しめる高さ 7.5m の本格的なクライミングウォール。集中力や判断力、バランス感覚を遊びの中から身に付けます。また横移動のクライミングが体験できる高さ 3m、長さ 10m の「クライミングぱーく」も人気。ギャラクシティでは縦にも横にもクライミングを楽しむことができます。

■まるちたいけんドーム(プラネタリウム)



実際に触れる「隕石」の展示もあります。

直径 23m からなる東京 23 区最大の大型ドームで、プラネタリウムをはじめ様々な映像プログラムを開催。また、ドームやステージを活用したパフォーマンスや講演会など、迫力ある高精細映像を「見る」だけでなく、「聴く」「創る」施設としてもマルチな体験を楽しめます。団体利用の場合は天文解説員による生解説とテーマシーン(オートプログラム)を組み合わせた特別プログラムです。

【料金】おとな 400 円 高校生以下 80 円(20 名以上の団体利用の場合)

■まるちたいけんドームの星空カメラ



©東京大学 TAO プロジェクト

標高 5,640m、世界最高地点にありギネスに認定された地球で一番宇宙に近い南米チリの東京大学アタカマ天文台、すばる望遠鏡がある国立天文台ハワイ観測所、東京大学木曾観測所など世界有数の天文台から星空の画像が届きます。他では見ることができない現地の星空画像をほぼリアルタイムで見ることができるのは、ここギャラクシティだけです。

■サイエンスプログラム



サイエンスショーまたはサイエンスワークショップなど、身近なサイエンスプログラムの楽しい体験を通して科学のおもしろさや不思議を知ってもらい理科への興味を引き出します。実験で子どもたちの驚く表情が毎回印象的です。

■わくわくデスク*



理科や食育をはじめ様々な目的にしたがつくられた体験キットで、遊びの中から子どもの興味を引き出します。1人でも友達同士でもご家族でも楽しめます。保護者からは「子どもの新たな一面を発見できた」と言われる人気のコーナーです。

■ホワイトあとリエ*



水性クレヨンで床に自由にお絵かきができるコーナー。工作ワークショップなどの開催も実施。また、可動式ミニドームが設置されており、プラネタリウムを投影できます。

■デジタルきゃんばす*



プロジェクターから床や壁に映し出されたデジタル映像を、自分の体でコントロールしながら遊びます。子どもたちは全身を使って大はしゃぎ、クイズや色合わせなど数種類のデジタル遊びが日替わりで登場します。

*ホワイトあとリエ、わくわくデスク、デジタルきゃんばすは、団体の優先利用はありませんが、一般の利用者と一緒にご利用いただくことができます。ご利用については事前にご連絡ください。

2. 天候に左右されないギャラクシティ、急な雨天時の団体利用にも対応

冷暖房完備のギャラクシティは、真夏の暑い日でも、凍えるような冬の寒さの中でも快適に、計画通りに校外学習を進められます。天候に左右されることが少なく、雨のせいで校外学習が中止ということにはなりません。また事前申込や利用状況によりますが、雨天のため当日、急に団体利用をお申し込みされる場合でも、まるちたいけんドーム(プラネタリウム)や*体験施設を一般利用者と一緒にご利用できますので、代替の目的地になり遠足のために折角作ったお弁当を教室で開けることもなくなります。ギャラクシティは雨天時のみの利用の予約であっても、まるちたいけんドーム(プラネタリウム)の団体利用をご予約できます。また2日前までに通常の事前申込に変更される場合、スペースあすれちっく等の体験施設についても団体枠が空いているなど諸条件が整えば、一般利用者と一緒ではなく団体のみでの利用が可能です。詳細は、団体利用案内資料の P. 1「ギャラクシティ体験施設及びプラネタリウム学習投影の利用概要」の 4 雨天時の団体利用をご覧ください。当日の団体予約状況によりご利用いただけない場合もありますので、事前にご相談ください。*一部の体験施設を除く。



「ギャラクシティ」施設概要

住所・TEL・アクセス	〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1 TEL. 03-5242-8161 ○首都高速三郷線加平ICから約4.2km ○東武スカイツリーライン西新井駅東口から徒歩3分
入館料	無料 ※まるちたいけんドーム(プラネタリウム)観覧料: 団体利用(20名以上): 大人400円、小中高生80円、未就学児80円 (通常: ・大人500円、小中高生100円、*未就学児無料) *席を利用する場合は100円 ・1日券 大人800円、小中高生160円 ・年間パスポート 大人1,500円、小中高生300円
団体時間	9:00～16:00 まで
休館日	毎月第2月曜日、1、3、9月に連続休館いたします。 ※祝日の際はその翌日、夏休みは無休、冬休みは元旦除き無休
団体専用駐車場	大型バス 2 台までの無料専用駐車場があります。駐車場をご利用される場合は必ず事前にお申し込みください。

■団体利用のお問い合わせ、お申し込みは、下記までお願いします。
ギャラクシティ 総務 綿貫、吉村 TEL. 03-5242-8161 FAX. 03-5242-8165
ホームページ <http://www.galaxcity.jp/>